

2017年3月14日

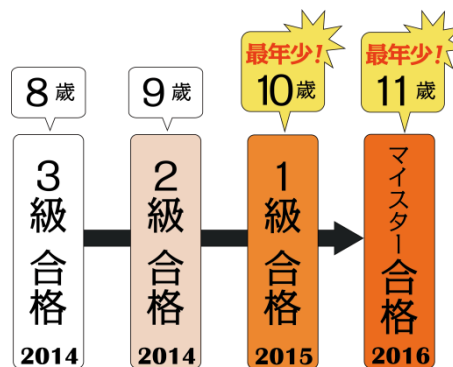
NPO法人 世界遺産アカデミー

報道関係者各位

【最年少記録を更新！】 京都市在住の小学5年生（11歳）が 「世界遺産検定」最上級のマイスターに合格

NPO法人 世界遺産アカデミー（所在地：東京都千代田区）が主催する「第26回世界遺産検定」（2016年12月18日実施）において、京都市立岩倉北小学校5年生の山本・リシャール 登眞（とうま）さん（11歳）が最上級の「マイスター」試験に合格し、マイスター最年少記録を1歳更新する快挙を達成しました。

フランス・リヨン生まれの登眞さんが、幼少期を過ごした日本へ帰国したのは小学2年のとき。「これが僕のやりたいことだ」と思ったという世界遺産検定の勉強を始め、4年生で1級に最年少で合格しました。平均合格率約20%の1級は、全世界遺産が出題範囲となります。



登眞さんマイスター合格までの歩み



世界遺産検定「マイスター」の最年少合格記録を更新した山本・リシャール 登眞くん

そして2016年12月開催の第26回世界遺産検定において、登眞さんは最上級の「マイスター」に11歳で見事合格。試験では「ル・コルビュジエの建築作品」の登録の意義と今後の世界遺産の課題を自らの言葉で論述し、最年少マイスターとなりました。マイスター試験は、世界遺産に関する諸事象について自らの意見を問うもので、マイスター保持者は全受検者数の約0.2%という難関です。将来は世界遺産の調査に関わりたいと語る登眞さんの快挙を、貴媒体にてぜひご紹介ください。また、取材や出演も随時お受けいたしますのでお問い合わせください。

大人になったら「イコモス」の調査員になりたい

—世界遺産に興味を持ったきっかけは？

幼稚園のときに母が買ってくれた世界遺産の図鑑に載っていた写真や文章を見て、地球の美しさ、人類が作りあげてきた建造物のすばらしさに感動し、それをどうやって作ったのかを学びたいと思ったんです。

—小学生で1級、そしてマイスターまで挑戦しようと思ったのはどうしてですか。

やるからにはもっと上を目指したいという気持ちでした。（論述試験となる）マイスターに関しては、過去の講評に「感情的にならないように」と書いてあったので、事実をしっかりと把握した上で、感情論ではなく冷静に書くことを意識しました。

—将来の夢を教えてください

これまで世界の平和と環境の保護に関する仕事をしたいと漠然と考えていたのですが、世界遺産を知れば知るほど、建築士になりたい気持ちが強くなってきました。また、イコモス（国際記念物遺跡会議）^{*}の調査員になりたいという思いもあります。



インタビュー全文は、世界遺産検定公式HPにて公開しています
（www.sekaken.jp/voice/nintei98.html）

^{*}イコモス（ICOMOS）……世界遺産センターからの依頼を受け、世界遺産リストに登録推薦された文化遺産の専門的調査や審査を行う諮問機関。

■ 世界遺産検定 1 級とマイスターの試験について

	1 級	マイスター
解答形式	マークシート	論述
問題数	90 問	3 題
試験時間	90 分	120 分
受検者層	大学生～社会人	大学生～社会人
合格基準	200 点満点中 140 点以上	20 点満点中 12 点以上
出題範囲	世界遺産全件(1052 件)	世界遺産全件(1052 件)
検定内容	世界遺産条約の理念や諸概念、関係機関についての理解と、1,000 件を超えるすべての世界遺産についての知識を問う。	世界遺産条約の理念や諸概念の理解を基に、世界遺産に関する諸事象について横断的・論理的な自らの考えを問う。
検定を受けた著名人のインタビュー集をご覧ください www.sekaken.jp/voice/interview.html		

<参考>第 26 回検定 (2016 年 12 月実施)

マイスターの問題 (抜粋)

世界遺産リストの信頼性確保のため、グローバル・ストラテジーと共にトランスバウンダリー・サイトが有効であると考えられる点と、トランスバウンダリー・サイトの保護・保全の観点から課題となる点の 2 点について、「ル・コルビュジエの建築作品」の事例を用いつつ、1,200 字以内で論じなさい。

※ 1 級とマイスターの問題を同封しております。どうぞご覧ください。

■ 世界遺産検定とは

世界遺産検定は、人類共通の財産・宝物である世界遺産についての知識・理解を深め、学んだ内容を社会へ還元することを目指した検定です。世界遺産への理解・習熟度を基礎から専門分野にいたるまで、幅広く総合的に測ります。2006 年にスタートして以来、約 14 万人が受検し、8 万人以上が認定されました。受検料の一部は、ユネスコ「世界遺産基金」に寄付され、世界遺産の保護や保全等に活かされています。

世界遺産検定 概要	
主催	NPO 法人 世界遺産アカデミー
共催	株式会社マイナビ、株式会社マイナビ文化事業社
後援	文部科学省、(社)日本旅行業協会、(社)全国旅行業協会、日本国際観光学会、ANTOR-Japan(駐日外国政府観光局協議会)
実施回	年4回(3月、7月、9月、12月)
開催都市	7月、12月:全国約20ヶ所以上/3月、9月:首都圏、大阪、名古屋、福岡など
受検級	マイスター、1級、2級、3級、4級(マイスターと1級は、7月と12月のみ実施)
解答形式	マークシート(マイスターのみ論述)
公式 HP	www.sekaken.jp/

■ 次回検定のご案内

次回は 7 月 9 日(日)、全国 24 会場で実施いたします。お申込は世界遺産検定公式サイトより。
(申込期間:3 月 17 日～5 月 31 日)

この件に関するお問合せ・配信元

世界遺産検定事務局(NPO 法人 世界遺産アカデミー内)
 広報担当 山中 直子(やまなか なおこ)

TEL: 03-6267-4158 E-mail: sekaken@wha.or.jp

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル9F